



# 十二指腸チューブの 管理について

胃から十二指腸への通過障害がある場合、空腸までチューブを挿入して経腸栄養を行います。

## 必要物品を確認しましょう

□チューブの種類は	<input type="text"/>	です。
□チューブの太さは	<input type="text"/>	フレンチ Fr です。
□チューブの体の外の長さは、鼻～フタの手前まで	<input type="text"/>	cm です。

## 注入方法

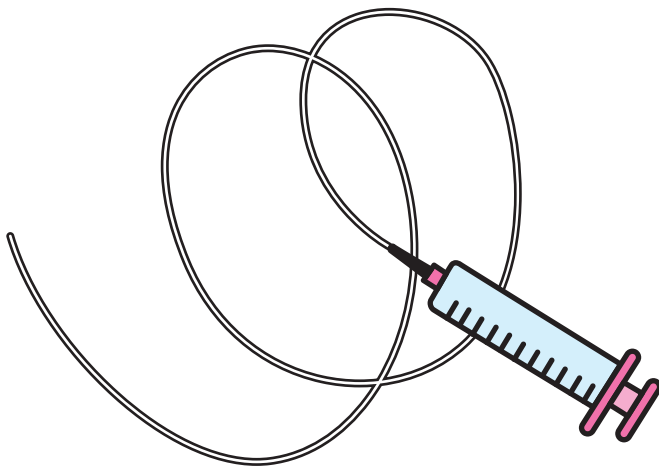
①注入は、経腸栄養ポンプを使用し、分（設定速度 ）で行ってください。

## ポイント

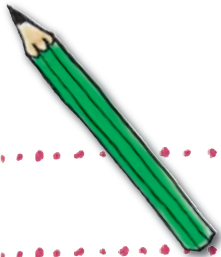
\*今までは胃→腸とゆっくり流れて吸収していたものが、腸に直接流れていくことになります。そのため、注入速度が速いと血糖が急激に上昇し、それを下げようとインシュリンが出され、血糖が下がる場合があります。  
この場合、冷汗がでたり、動悸（ドキドキして脈が速くなる）が起こったりするので、注意して指示通りゆっくり注入しましょう。

- ②十二指腸チューブは詰まりやすいため、注入後は白湯を5～10ml程流しましょう。  
内服薬を十二指腸チューブから投与するときは、多めの白湯10～15mlでしっかり溶いていれるようにしましょう。
- ③十二指腸チューブが詰まらないように、毎日微温湯（人肌程度）を流したり、多めの白湯を流しながらチューブをもんできれいにしましょう。
- ④十二指腸チューブが詰まってしまった場合は、1mlや2.5mlの注射器で押したり、引いたりし、開通しない時は病院へ連絡しましょう。
- ⑤1日1回は挿入長さ（鼻～フタの手前）をはかって抜けていないか確認しましょう。

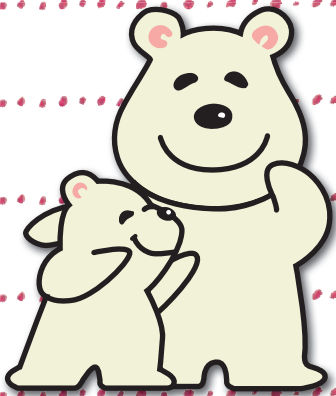
\*もし、十二指腸チューブが抜けてきたら病院に連絡し、診てもらいましょう。



memo



A series of horizontal dotted lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice. The lines are evenly spaced and extend across most of the page's width.





# ガス抜きについて

お子様がなかなかガス（おなら）を出せなかったり、お腹が張ってしまったりと苦しそうな場合に、ガス抜きをして、排ガスを促す助けをあげましょう。



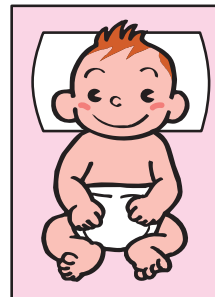
## 1 必要物品を用意しましょう

- 潤滑剤：食用油でも良い。
- ネラトンカテーテル  
サイズは  フレンチ Fr の物を用意しましょう。
- 水を入れたコップ
- おむつ
- おしりふき



## 2 お子様にガス抜きをしましょう

- お子様の理解力に合わせた説明をします。
- お子様が乳児の場合は上向き、幼児、学童は左下にして寝かせます。（下の図参照）



乳児

幼児・学童



- 施行者は手をきれいに洗いましょう。
- ネラトンカテーテルの先（丸型の側）に潤滑剤を付けます。

- ネラトンカテーテルをゆっくりと肛門から抵抗なく入るところまで挿入し、反対側はコップの水の中につけます。カテーテルがうまくコップの水に入らない場合は、テープなどを使って、カテーテルをコップに固定するとうまくいきます。



ゆっくりと肛門から挿入



反対側をコップの水の中に入れる

排ガスがみられると、水がぼこぼことしてきます。



- ネラトンカテーテルをゆっくりと丁寧に抜き取ります。

### 3 使用した物品をかたづけましょう

- 使用したネラトンカテーテル、コップはきれいに洗って乾燥させましょう。
- 施行者の手洗いも十分に行ってください。

#### チェック!

ガス抜きをした後のお子様の状態はどうでしょうか?

- ❗ ガスは出ましたか?
- ❗ ガスと一緒に便も出ましたか? 便の性状はどうでしたか?
- ❗ 量はいっぱい出ましたか?
- ❗ お腹はすっきりしましたか?
- ❗ 顔色、機嫌は変わりないですか?



何か困ったことがあった場合は、かかりつけの病院もしくは当院外来へ相談をして下さい。